

2019年度文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
『多摩地域における建設産業中核的人材養成事業』
産学連携体制構築事業

第3回委員会

次 第

日時：2019年12月12日(木) 15:00～17:00

会場：日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟14階 AI実践センター

1. 議 事

(司会) 日本工学院八王子専門学校

小林 猛

1) 実施報告

・国内視察「高知県立林業大学校」

2) 実証講座・勉強会・イベントの案内

- ・女性のためのキャリアアップ講座
- ・はちおうじBIMラボ
- ・建設系多摩地域企業・BIM関連企業交流会

3) 講演

「日本の伝統技術と木の総合文化」

株式会社 番匠 代表取締役 田子 和則 氏

※講演者の略歴は別紙参照

2. その他(今後の予定など連絡事項)

2019年度 文部科学省委託事業

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

多摩地域における建設産業中核人材養成のための

産学連携体制構築事業

第3回委員会

2019年12月12日

2019年度 文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

2019/12/9

多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

第3回 委員会名簿

開催日時：2019年12月12日(木) 15時～17時

開催場所：日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟14階 AI実践センター

代表機関：日本工学院八王子専門学校

No.	企業名・学校名	氏名	部署	役職	備考
1	前八王子市長	黒須 隆一			出席
2	八王子市役所	橋本 英章	まちなみ整備部建築指導課	監察担当主査	出席
3	八王子商工会議所	外池 正明	建設部会		出席
4	一般社団法人南多摩建設業協会	朝倉 泰成	株式会社朝倉組 代表取締役社長		出席
5	西多摩建設業協同組合	岩浪 岳史	岩浪建設株式会社 代表取締役社長		出席
6	株式会社田中建設	鈴木 浩之		取締役 建築部長	出席
7	黒須建設株式会社	遠藤 政章		取締役 土木部長	欠席
8	明星大学	鈴木 博之	理工学部 総合理工学部	特別教授	出席
9	工学院大学	田村 雅紀	建築学部 建築学科	教授	未返信
10	町田・デザイン専門学校	飯田 有登	建築ものづくり系 担当長	理事 教頭	未返信
11	山梨県立甲府工業高等学校	手塚 幸樹		校長	未返信
12	日本工学院八王子専門学校	山野 大星		理事 副校長	出席
13		清水 憲一	テクノロジーカレッジ	カレッジ長	出席
14		上田 耕作	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	科長	出席
15		真田 一穂	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	主任	欠席
16		小林 猛	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	主任	出席
17		根本 毅	テクノロジーカレッジ 建築学科・建築設計科	教員	欠席

高校出張

授業

講演者

No.	企業名・学校名	氏名	部署	役職	備考
	株式会社 番匠	田子 和則	田子式規矩法大和庵六代目、木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会 理事	代表取締役	出席

オブザーバー

No.	企業名・学校名	氏名	部署	役職	備考
	三菱総合研究所	山口 健太郎	科学・安全事業本部 産業イノベーション戦略事業部グループ		出席

一第2回委員会 概要一

日時：2019年11月5日（蚊） 15:00 ~ 17:00
 場所：日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟 14階 AI実践センター
 出席者名 12名（以下 敬称略、オブザーバーは含めない）

No.	企業名 / 学校名	氏名	部署	役職
1	前八王子市長	黒須 隆一		
2	八王子市役所	橋本 英章	まちなみ整備部建築指導課	主査
3	八王子商工会議所	外池 正明	三友建設株式会社	代表取締役
4	西多摩建設業協同組合	岩波 岳史		
5	株式会社田中建設	鈴木 浩之	建築部長	取締役
6	黒須建設株式会社	速藤 政章	土木部	取締役
7	明星大学	鈴木 博之	理工学部	特別教授
8	町田・デザイン専門学校	飯田 有登	建築ものづくり系 担当長	理事 教頭
9		山野 大星		副校長
10	日本工学院八王子専門学校	清水 憲一	テクノロジーカレッジ	カレッジ長
11		上田 耕作	テクノロジーカレッジ	科長
12		小林 猛	テクノロジーカレッジ	主任・事務局

建設産業人材育成

●規約について

- ・初年度は日本工学院八王子専門学校が事務局を行うのが良い。
- ・事務局に関しては、建設系企業が個々で持ち回るのではなく、団体の方が良い。
- ・人材育成協議会で行う具体的な内容が初年度に行うことで明確になる。

●社員へのアンケート

- ・もしも、祭日に出勤をお願いされたら、どうするか。
 1. 手当をもらって出勤
 2. 休みをもらう
- 1を選ぶ社員は実家以外からの通勤者、2を選ぶ社員は実家からの通勤者が多い。最近は休みを取る傾向にある。

●活動内容について

- ・建設ITラボ、はちおうじまちづくりくらぶ、インターンシップ・コーオプ教育 社会人・女性の学び直しなどのテーマが充実して欲しい。
- ・インターンシップ等は大いに協力可能。
- ・「とにかくやってみる」の精神で。

●実証講座について

- ・建設現場の社員の負担を減らすために、事務職員が図面等を修正できれば良い。
- ・現在は会社負担、または個人負担で外部のスクール等に通っている。
- ・建築知識を習得する講座も需要がある。
- ・マルチタスクの社員が重宝される。

産学連携プロジェクトについて

●サスティナブルな環境づくり

- ・本立寺プロジェクトはもともと宿場町だった八王子の良さが出ると良い。
- ・寺を中心にしたコミュニティが生まれる。
- ・多摩産材などの利用も効果的で、地域のものが地域で消費される地域となる。

●インターンシップ・コーオプ

- ・インターンシップ等への参加は学生の基礎学力が大きく「成功/失敗」に関わってくる。
- ・体験後に発表会を行うことが重要。企業側が他社の体験内容を知ることができるため。
- ・成功体験をいかにさせるかが大切。

●多摩地域建設人材育成協議会

- ・学生には成功体験が必要。多くの体験をさせてあげられる場を提供することができれば良い。
- ・はじまりのきっかけづくりが重要。
- ・体験しないと得れないものが多い。
- ・まちづくりなどが教育の場となることはものすごく意味がある。
- ・委員としても参加している協議会で考えたものが市内に点在していると嬉しい。
- ・社会と関係を持つことで、学生も意識が変わり、学業や就職に前向きになるのではないか。

●産・官・学プロジェクト
「結びの丘」

- ・まちづくりに協力できるのは楽しい。
- ・企業側もなにか提供できる現場等がないか検討する必要がある。
- ・住宅団地内の公民館などで学生と住民が一緒に行えるしくみがほしい。
- ・住宅地の住民は学校の施設を使用できるなどがあれば魅力的。

●産・官・学プロジェクト
「自動運転」

- ・5Gの時代になることが近いので、実際に運用がどのようになるか期待。
- ・センサーなどを使用した見える化でなにかできるかを考える必要がある。

●高知県立林業大学校の基本情報

選考試験料	無 料
入校料	無 料
研修料	年額118,800円(税抜) (前期と後期の2回分割払い)
その他	年額200,000円程度 (教科書、安全防具、作業着などの購入経費で、それぞれの)

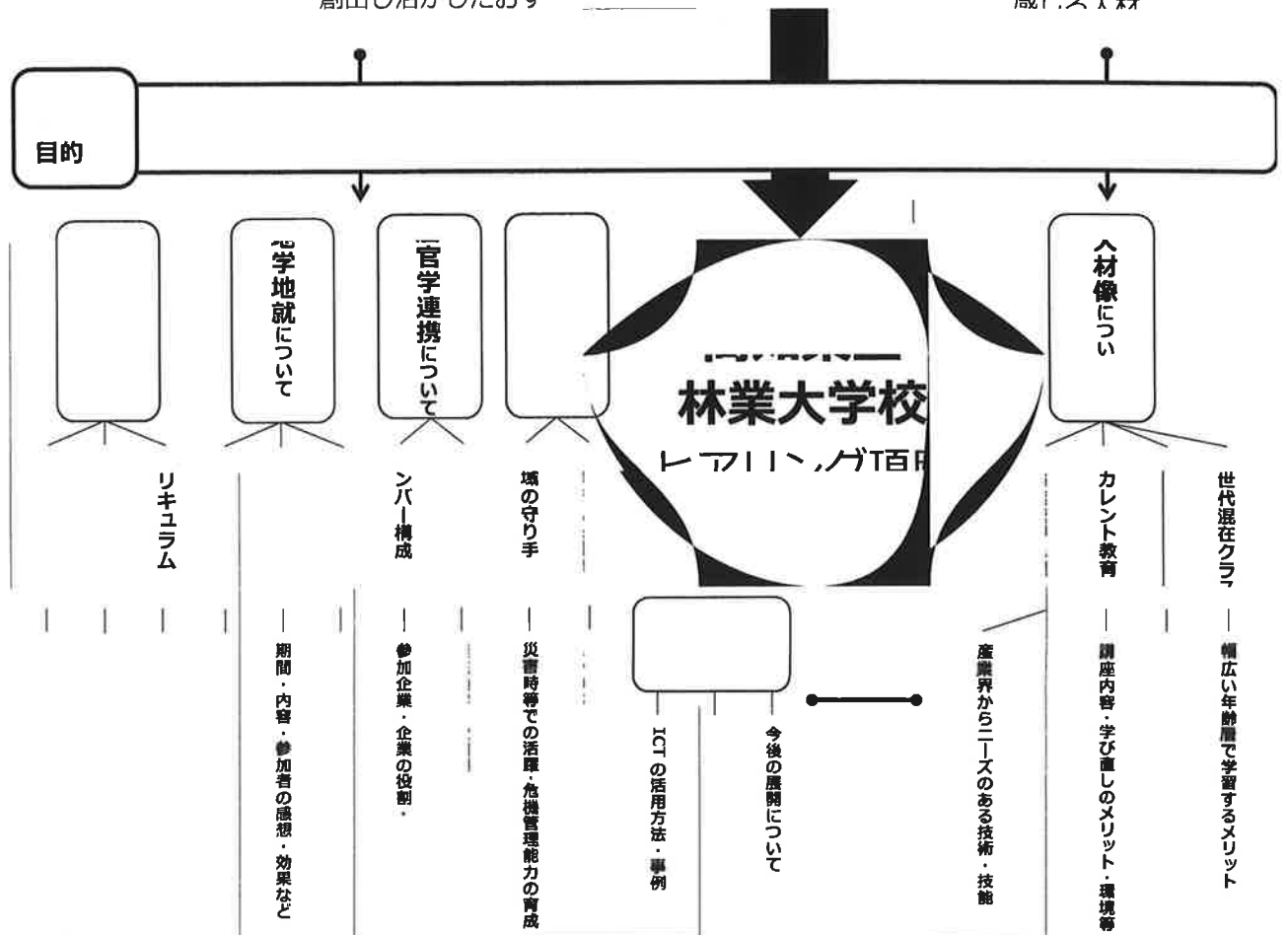
課 程	選考区分	募集人員	募集定員	研修期間
基礎課程	推薦	10名程度	20名	1年
	一般	10名程度		
専攻課程	推薦	森林管理コース5名程度 林業技術コース5名程度 木造設計コース5名程度	30名	1年
	一般	森林管理コース5名程度 林業技術コース5名程度		

●ヒアリング項目

- 地学地就 ~ 地域で学び、地域で働く
- 産官学連携 ~ 各セクターの特性を運動させて創発する
- 地域重視 ~ 多摩地域の「強み」を系創出し活かしたおす

多摩建設 人材育成 協議会

- 地域に根づく人材
自ら自主的に、環境づくりに画できる人材
- 設計分野に
生きがい、働きがいを感得する人材



高知県の森林の現状



林業分野の取り組み

これまでに精進した川上から川下までの仕組みを生かして、「森の資源」を余すことなく活用



日程：2019年11月15日(金)13:00～15:00

視察先：高知県立林業大学校（高知県香美市土佐山田町大平 80）

副校長 塚本愛子氏、教務課主幹 公文大輔氏、学生課長 野村裕章氏、主任教授 山下 博氏

事務局：日本工学院八王子専門学校 山野大星、清水憲一、高地昭彦、真田一穂

■基本情報

● 入学生の属性

工業高校出身～60代まで幅広い層

工業高校を出てすぐに入学する若い方から、大学で学び、数年働いた後に入学する方、30代、40代からの学びなおし、また、50代、60代まで多種多様な方々がいらっしゃるとのこと。平均年齢36歳。女性は各年1名程度。主に高知県の方が多い。北は関東エリア、中部エリア、関西、四国全般、九州エリア出身の方もいる。

● 卒業後の進路

森林組合 林業関係企業など地元の企業へ就職をする方がほとんど。設計事務所 工務店などにおいても地元地域の事務所、工務店に就職される方が多いとのこと。「土佐派」と呼ばれる建築家の先生方も多数健在であり、そういった事務所へも就職される方もいるとのこと。また隈研吾建築都市設計事務所に就職された方（49歳）もいらっしゃいました。

● カリキュラム

基礎課程コース1年 研修期間1年（1200時間程度）定員20名

対象者 林業へ就業を希望する者

専攻課程3コース 座学3：実習7

CADはJWCAD スケッチアップを使用

年齢層、建築業界経験値に幅があり、授業進捗、指導に苦労しているとのこと。

● 森林管理コース/林業技術コース/木造設計コース

研修期間1年（1200時間程度）

上記コースの中で特に木造設計コース等は、他校の学生などで専門学校の2年制課程修了後に学ぶようなカリキュラムも良い。

● 現地居住環境について

学生寮は無い。各自で近隣のアパート等を探し居住。通学（自転車、バイク、車）している。公共

■地学地就について

● 地域企業との連携

主に高知県で林業が盛んな香美市と連携して林業実習を行っている。また香美市からの依頼を受けて、利用が少ない地域自然公園の活性化を目的とした建築物の提案等を行っている。その他、県内の人口871人の馬路村などの活性化取組、馬路村の山師達人選手権への参加等。http://higashi-kochi.jp/event/27-1.html 林業の活性化が、地域の活性化に結びつく事を目標とし活動しているとのこと。

● インターンシップ

年間3回 1～2週間/1回 基本的には県内の建築設計事務所が多い。

JIA四国支部高地地域会との連携による「土佐派」の建築家設計の建築探訪や、地域の大工さん、工務店さん現場見学会を行っているとのこと。

● 人手不足の解消

他府県からきた方々が、そのまま県内の森林組合等に就職するケースもあるとのこと。しかし今後さらに、そういったケースの卒業生が輩出できるよう運営していきたいとお話でした。本校の学生にも1年間のオプションコースとして提携する話で盛り上がりました。

■産官学連携について

● メンバー構成

県内の工務店、建築設計事務所、高知県中小建築業協会の企業、高知工科大学等主にインターンシップによる職場体験等。

● 連携授業・課題等

既述どおり

■地域重視について

● 地域の守り手

木造防災設計講座等の授業は行っているようですが、災害、危機管理能力の育成授業等は、行っていない様子。

● 林業振興と教育

地元の林業分野での担い手育成に特化したコースがあり各地域地区の森林組合でインターンシップを行っている。年3回 1～2週間/1回

■その他

● ICT活用方法・事例

基本的には、各特別教授陣によるライブ講義が行われている。校長隈研吾氏も年3回、来校されているとのこと。

● 建築受験資格改定について

主に木造設計コースにて、2級建築士受験資格者を受け入れている。コースでのインターンシップ等を実務経験として単位認定を取れるようなことは今後も予定していない。県の条例校でもあり、建築士受験への対応、それに即したカリキュラム等の策定も予定していない。理由としては、学校の目的はあくまで林業振興への取り組みがメインであるため。建築士受験に縛られてくると、自由な取り組みができなくなるため。

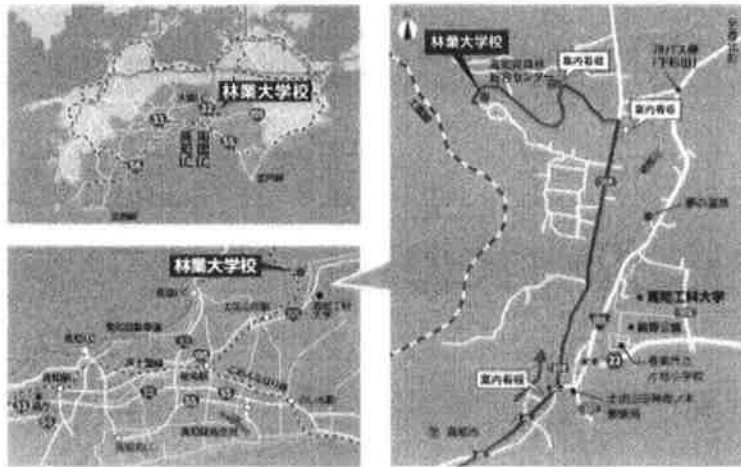
● 今後の展開について

学校の知名度を更にあげ、さらに充実したカリキュラムを実践し学生数増を目標とする。高知県の林業振興、さらに国内の林業振興に寄与していく。



高知県立林業大学校

Kochi Prefectural Forestry College 2020



空・車・インターネット・ユニゾンからのアクセス

高知駅西口	徒歩	約15分	JR土佐山田駅	徒歩	約10分
JR高知駅	バス	約10分	JRバス(下杉田)	徒歩	約15分
南国I.C	自動車	約30分	自動車	約30分	約15分

高知県立林業大学校

Kochi Prefectural Forestry College 2020

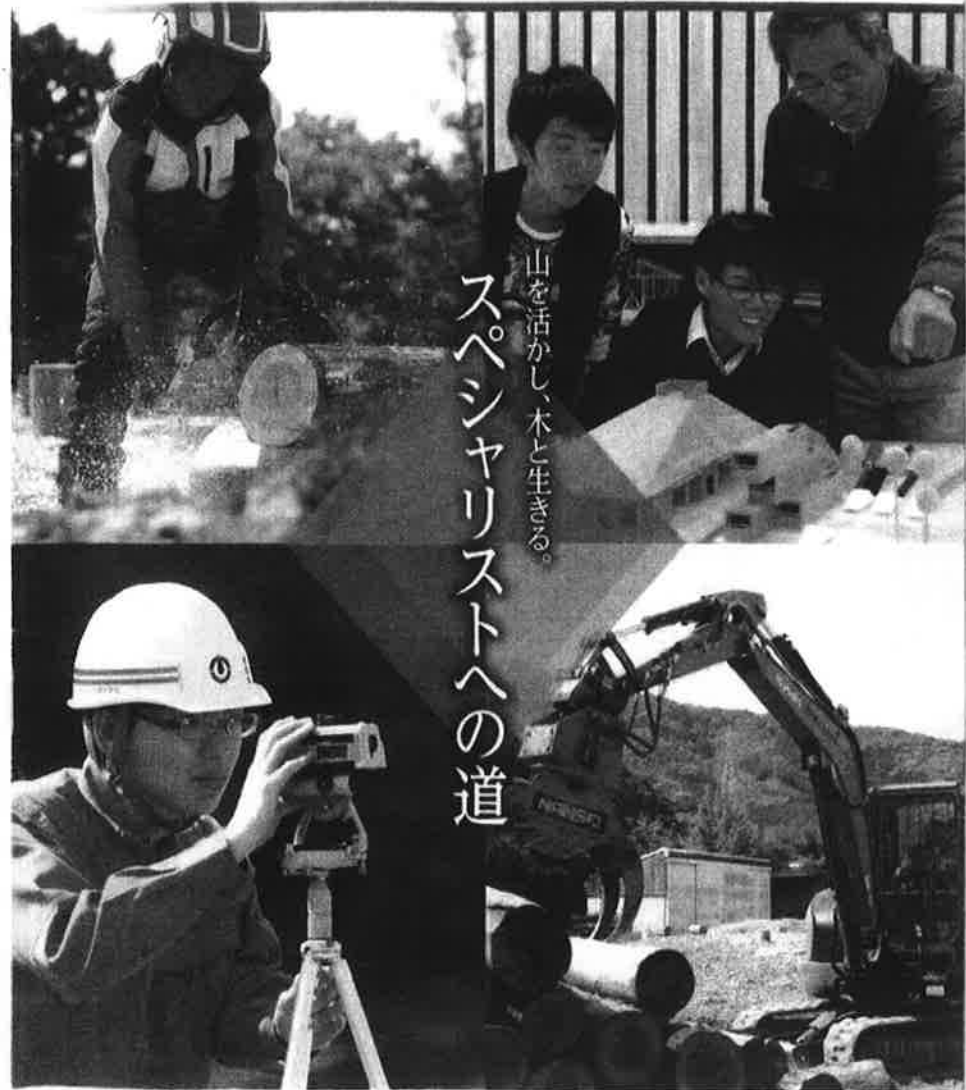
〒782-0878 高知県高知市土佐山田町1-1-1

Tel.0887-52-0784 Fax.0887-52-0788

<http://kochi-forestry.ac.jp> E-mail: info@kochi-forestry.ac.jp

〒782-0878 高知県高知市土佐山田町1-1-1

高知県立林業大学校 検索 フェイスブックもチェック



山を活かし、木と生きる。
スペシャリストへの道

CONTENTS

- 01P 教育理念
- 02P 校長挨拶
- 03P 学校概要
- 04P 高知県の
林業振興の取り組み
- 05P 基礎課程
- 06P 短期課程
- 07P 専攻課程
- 08P 森林管理コース
- 09P 林業技術コース
- 10P 木造設計コース
- 11P 専攻課程授業紹介
- 12P 学校施設
- 13P 学校の特徴
- 14P サポート体制

教育理念

林業再生を
担う若者たちの
プラットフォーム

新しい森や木の文化、技術を
熟成し、世界に発信できる
プラットフォームを
目指します。

木の世紀を
リードする志ある
人材を育成

全国から志を持った
若者が集い、日本の林業や
木材産業等の活性化に
貢献する人材を
育てます。

現場に学ぶ
実学主義

各分野の第一線で活躍する
講師陣や、フィールド中心の
カリキュラムにより、
実践力と応用力を
培います。

校長挨拶

新しい森の文化、森の技術を
高知で創造しましょう

私が初めて手掛けた本格的な木造建築は、日本を全面的に使って欲しいという要望に応えて設計した高知駐摩原町の「雲の上のホステル」です。最期に控摩原を訪ねたのは30年前で、以来、度々となく高知県を訪れ、そのために感銘を受けました。人々の暮らしと森がこれほど深く、温かいつながっている地域は世界でも希ではないかと。

こうした林業を振興することは、高知県にとって重要であるというだけでなく、日本全体にとっても極めて重要なことであり、この強い思いから高知県立林業大学の校長に就任することを決意いたしました。

高知県立林業大学校は、林業を再生し、林業を活性化させるためのプラットフォームになることを目指しています。全国の個性豊かな若者が集い、学ぶことによって、林業再生に向けた創発的なアイデアが生まれることでしょう。そして、新しい森の文化、森の技術が熟成し、全国に広まり、さらに世界に発信できる、そういう林業大学校になればと考えています。

志を持った皆さん、日本一の高知県の森で、共に学び、成長していきましょう。



高知県立林業大学校 校長
限 研 彦 Kenji Kato



高知県立林業大学校 校舎

学校概要

高知県立高知大学附属の「林業」分野を専門とする高知県立高知大学附属高知林業専門学校は、高知県の林業振興を目的として設立された。本校は、高知県の林業振興を目的として設立された。本校は、高知県の林業振興を目的として設立された。



教育体系

	専攻課程			短期課程
	基礎課程	森林管理コース	林業技術コース	
概要	林業に携わる上で必要な知識、技能を身に付けた、即戦力となる人材を養成します。	森林GISの活用方法や森林施業プラン書の作成技術などを習得した、林業経営の半役を担う人材を養成します。	高知県林業振興のニーズや関係機関との連携などを実践した、林業技術のエキスパートを養成します。	木造住宅から中大規模木造までの設計技術を習得した、木造建築のプロデューサーを養成します。
研修期間	1年 (1,200時間程度)	1年 (1,200時間程度)		1日~1カ月程度
定員	20人	30人(各コース10人程度)		各講座内容により決定
対象者	林業への就業を希望する者	大学や林業大学校等で林業を学んだ者など		すでに林業に従事している者など
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> 基礎能力 森林生態学 林業技術 森林計画 木材産業 林業機械 森林路網・計画 登山安全・活用 技能講習・安全教育 インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> 公共政策講座 森林GIS講座 森林施業プランナー講座 インターンシップ 課題研究 	<ul style="list-style-type: none"> 高知県林業機械講座 架線技術講座 森林作業講座 インターンシップ 課題研究 	<ul style="list-style-type: none"> 木造建築設計講座 木造防火設計講座 木造建築施工・木材利活用講座 インターンシップ 課題研究

高知県の林業振興の取り組み

高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。

高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。

高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。

高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。

高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。

高知県は林業の振興に力を入れ、森林の整備を進め、森林業の発展を図る。



高知県知事
尾崎 正徳

大学校で学び、
これからの林業を
けん引してほしい。

高知県の森林の現状



林業分野の取り組み

これまでに構築した川上から川下までの仕組みを生かして、「仮の資源」を余すことなく活用



原木生産のさらなる拡大

- 生産性の向上による原木の増産
- 持続可能な森林づくり
- 再造林コストの削減



加工体制の強化

- 高次加工施設の新設
- 製材工場の強化
- 付加価値の高い製品づくり



強い手の育成・確保

- 林業大学の充実・強化
- きめ細かな若い手確保の強化
- 事業体の経営基盤の強化
- 小規模林業の支援



流通・販売体制の確立

- プッシュ型販路等による外需体制の強化(A材の販売促進)
- 流通の活性化・効率化
- 販売先の拡大

即戦力となる人材の養成 基礎課程

林業技術や林業機械の操作、森林路網の開設など、フィールドワークが約7割を占め、即戦力となる人材を養成します。

年齢	18歳以上
研修期間	1年(1,200時間程度)
定員	20人
研修料	年額118,800円(税込) ※月立、起床費、食費、受講料の加入費、服装費200,000円程度、 尚志奨励金150,000円(1年分)

取得できる修了証
(技術講習・安全教育)

林業分野に就業する上で必要な下記の12の特別教育
及び技能講習修了証を研修期間内に取得できます。

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 不整地運搬申請運転技能講習修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 走行集材機械運転業務特別教育修了証
- 車両不整地機械運転技能講習修了証
- 伐木等機械運転業務特別教育修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- 簡易架設集材装置等運転業務特別教育修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- はい作業従事者安全教育修了証
- 玉掛け技能講習修了証
- 機械集材装置運転業務特別教育修了証



卒業後の活躍の場
・森林組合
・林業関係企業
など

本校専攻課程への
進学も!

林業大学校の
ここが魅力!



VOICE 卒業生の声

山を適切に管理できる林業家を目指して。
卒業生の声として、卒業生の活躍をお伝えしています。山に囲まれて暮らす、山を大切にする心を持った卒業生、山を仕事で生かす卒業生、山を遊びで楽しむ卒業生、山を愛する卒業生、山を仕事で生かす卒業生、山を遊びで楽しむ卒業生、山を愛する卒業生。山を仕事で生かす卒業生、山を遊びで楽しむ卒業生、山を愛する卒業生。山を仕事で生かす卒業生、山を遊びで楽しむ卒業生、山を愛する卒業生。

卒業生 小倉 可汰(18歳) 担当: Ogura

知識・技術のスキルアップ 短期課程

すでに林業や建築設計業務に従事している方々などの知識や技術の向上を目指します。

年齢	制限なし
研修期間	1日~1カ月程度
定員	講座内容により決定
研修料	1日当たり480円(税抜)または無料
対象者	林業や建築設計業務に従事している方、小規模林業実践者、ボランティアの方、森林・林業・木造建築に興味をお持ちの方など



お申込みについて

研修内容

リカレントコース	プランナーコース
小規模林業向けコース	元氣な地産物産コース
嵐閣撤案対策コース	技術指導コース
木造建築コース	資格取得コース
林業改革コース	市町村職員向けコース

※リカレントコースは、本校の専攻課程の修業を終った方限定のコースです。詳細はホームページをご覧ください。

http://www.shlen-center39.com

専攻課程

林業技術

コース

目指す人材像
現場の第一線で活躍する高度な技術を身につけた林業現場のエキスパート






入校資格

- 林業の高卒経験(1年以上)がある者
- 大学や林業大学校等で林業を学んだ者

専攻課程

木造設計

コース

目指す人材像
森林の重要性を知る木造建築の未来を拓くプロフェッショナルへ






入校資格

- 建築士の資格を有する者
- 高校で専門学校(大学等)で建築デザインを学んだ者



高性能林業機械講座
高性能林業機械の種類や性能、メンテナンス方法や故障の修理方法について学びます。



製材技術講座
製材現場で働く技術者の役割や、製材機の操作やメンテナンスについて学びます。



造林作業指導講座
造林作業の現場での実践的な指導を受け、造林の技術や安全管理について学びます。

高性能林業機械操作実習
高性能林業機械の現場での操作実習を行い、実際の作業環境でのスキルアップを図ります。

家業知識開発
家業に関する知識やスキルを開発し、経営者としての視点から事業の発展を図ります。

作業計画設計・実習
現場での作業計画を立て、実際に作業を行うことで、計画立案と実行のスキルを身につけます。

伐木適材技術
伐木適材の選別や安全管理に関する知識や技術を学びます。

林業現場
林業現場での実践的な作業や安全管理に関する知識や技術を学びます。

作業計画設計システム
最新の作業計画設計システムに関する知識や技術を学びます。

VOICE


卒業生の声

卒業後の活躍の場

- ・森林組合や
- ・林業関係企業など

林業は、チャレンジする価値のある奥深い仕事。本コースの修士課程では、伐木から製材、造林、業山までを学びたい、作業に必要な技術のみならず、コミュニケーションの重要性も学びます。作業計画設計も、仕事で生かせる技術です。私は引継のインターンシップがきっかけで、現在の森林組合に就職しました。林業は体力が重要という方も、私のように学校生活を活かしつづけることで、スキルアップをしながら職人気質への成長は、自然と進んでいます。

東海地区(岐阜県)出身 専攻課程 林業技術コース卒 片岡 紀文(20歳) 092-972-9188



就職先 須崎地区森林組合



木造建築設計講座
木造建築設計の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。



木質構造設計
木質構造設計の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。



木造建築施工・木材利活用講座
木造建築施工や木材利活用の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

木質構造設計
木質構造設計の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

木造防火設計
木造防火設計の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

木造建築施工
木造建築施工の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

木質構造設計
木質構造設計の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

木造防火設計
木造防火設計の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

木造建築施工
木造建築施工の現場での実践的な指導を受け、設計の技術や安全管理について学びます。

VOICE

卒業生の声

卒業後の活躍の場

- ・設計事務所
- ・工務店など

高度な専門性と、木を育て使う環境を体験。高知県は海と山が深く、山と谷の間、上下までが農業です。林業の現場で、豊富な木材利活用設計の経験も身につけました。設計士として25年経験が、1年間じっくり学び、担任でたこの経験が、自然・森林関係の大切な、木を扱うことが中心の生活環境に身を置き、実力を育み、木造建築の専門性に特化した建築現場に、建設現場の第一線で活躍する予定です。

東海地区出身 専攻課程 木造設計コース卒 國枝 東史生(149歳) 092-972-9188



就職先 高知市西建築都市設計事務所

内容充実の3コース。のぞいてみよう!

専攻課程

専攻課程では、第一線で活躍されている専門家や教育者を講師とし、理論科目と実践科目を合わせた専門講座を学びます。
ここでは、各コースの概要として、それぞれの特長をピックアップしてご紹介!

林業でGISを使いこなすことができれば、強い味方に!

森林管理 コース

森林情報学シリーズ

ITの発展に伴って、森林の管理・計画・調査・モニタリングの業務は、高度知識が求められるようになってきました。本専攻では、GIS(地理情報システム)を用いた森林の管理・計画・調査・モニタリングの業務を学ぶことができます。GISを用いた森林の管理・計画・調査・モニタリングの業務は、森林の持続可能な利用のために不可欠な技術です。本専攻では、GISを用いた森林の管理・計画・調査・モニタリングの業務を学ぶことができます。



架線シミュレーターでより深く学ぶ。

林業技術 コース

架線技術

林業技術の中心は、架線の設計・施工・保守です。本専攻では、架線の設計・施工・保守の技術を学ぶことができます。架線の設計・施工・保守の技術は、林業の持続可能な利用のために不可欠な技術です。本専攻では、架線の設計・施工・保守の技術を学ぶことができます。



耐力壁を自ら設計・製作し、耐力試験を行う。

木造設計 コース

木材加工・自力制作

木造設計の中心は、耐力壁の設計・製作・試験です。本専攻では、耐力壁の設計・製作・試験の技術を学ぶことができます。耐力壁の設計・製作・試験の技術は、木造建築の持続可能な利用のために不可欠な技術です。本専攻では、耐力壁の設計・製作・試験の技術を学ぶことができます。



校舎そのものが教材

木の魅力、木造建築の可能性を広げる新旧の技術が集結。

高度な木造技術と最新の建築技術(CLT)が併存する木造校舎。木造校舎の魅力を最大限に引き出すための最新の技術を集結。最新の建築技術と最新の建築技術(CLT)が併存する木造校舎。木造校舎の魅力を最大限に引き出すための最新の技術を集結。



CLTとは?
CLTとは、Cross Laminated Timberの略で、木質繊維板を3層以上重ねて製造された木材パネルです。従来の木材と比べて、強度が高く、加工が容易で、環境に優しい素材です。CLTを用いた建築は、木造建築の可能性を広げ、木造校舎の魅力を最大限に引き出すことができます。



教室



CLT棟

CLTを用いた木造校舎は、従来の木造校舎と比べて、強度が高く、加工が容易で、環境に優しい素材です。CLTを用いた建築は、木造建築の可能性を広げ、木造校舎の魅力を最大限に引き出すことができます。



日本伝統の
貫工法

多目的実習室

多目的実習室は、木造校舎の魅力を最大限に引き出すための最新の技術を集結。最新の建築技術と最新の建築技術(CLT)が併存する木造校舎。木造校舎の魅力を最大限に引き出すための最新の技術を集結。

いつでも必要な実習を可能にする「全天候型実習棟」



全国唯一
全天候対応の
実習棟を誇る

本専攻では、木造校舎の魅力を最大限に引き出すための最新の技術を集結。最新の建築技術と最新の建築技術(CLT)が併存する木造校舎。木造校舎の魅力を最大限に引き出すための最新の技術を集結。

高知県立林業大学校とは

森 日本一の高知県で、林業、木材産業、木造建築の各分野で、基礎から専門的な技術まで幅広く学びえる学校です。即戦力かつスペシャリストを育てるため、豊富な実習時間を確保した実践的なカリキュラムが特徴。最大165万円(授業料)の奨学金も利用できる奨学金制度も整備し、安心して学修のスタートが切れます。

短期課程リカレントコースとは

社 会人の方々の「学び直し」の場として、本校の専攻課程の講義を広く受講いただけるコースとなっています。他では学べない一流の講師陣による講義ですので、この機会に一度受講してみませんか？

※今年度のリカレントコースの予定は下記のとおりです。

建築CPD 情報提供制度とは

建築士等の資格者の研修として必要のしい講習会等を本学から申請受理し、その講習会を公開することで、建築CPD情報提供制度が導入されました。建築CPD情報提供制度は、建築士等の資格者が認定された講習会等に出席した場合、認定された講習会に出席したことが記録的に管理され、必要に応じてその実績を証明する制度です。

研修料 1日あたり480円(税別)
または無料

主な講師陣(左から右へ)

 有馬 孝博 専攻長 建築学	 遠藤 日雄 1階学舎学務部長 建築学	 藤原 幹雄 専攻長 生産技術工学	 酒井 秀夫 専攻長 木材工学
 上原 俊幸 専攻長 建築学 建築学	 龍口 秀一 専攻長 建築学 建築学	 三井所 清典 専攻長 生産技術工学 生産技術工学	 友井 賢 専攻長 木材工学 木材工学

リカレントコース

区分	科目	内容	定員	受講料	日程・時間	場所
1 森林学	森林文化 多目的講義科目	自然保護論、自然保護の動向など [1] 森林文化(大学) 森林文化(大学) 土曜講座	30名程度	無料	5/21(土) 13:00-16:10	
	森林文化 多目的講義科目	かたてけ、ふたてけ、のりてけ、文芸的・科学的・工学的・社会的・歴史・的考察 [1] 森林文化(大学) [2] 森林文化(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	6/28(木) 9:30-12:00	多目的実習室
	森林文化 多目的講義科目	森林経営、消費者の選択的購入は森林経営の発生に与える影響 [1] 森林文化(大学) [2] 森林文化(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	4/6(木) 18:00-19:10	
	木材利用学	全体論、材料と建築学 [1] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	5/18(水) 13:00-16:10 5/19(木) 9:30-12:00	
	木材利用学	全体論、木材と建築 [1] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	5/27(水) 9:30-12:00	
	木材利用学	1600年以降 建築史的発展の歴史、近代建築、近代建築の歴史 [1] 木材利用学(大学) [2] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	5/31(木) 13:00-16:10	多目的実習室
	木材利用学	木材利用の発展 建築・土木・環境・建築学、木材の科学的性質 [1] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	6/6(水) 13:00-16:10 6/7(木) 9:30-12:00	
	木材利用学	木材加工、建築学からの全体論 [1] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	6/14(水) 13:00-16:10	
	木材利用学	日本の木造建築 歴史・建築学、近代建築の歴史と多様な木造建築 [1] 木材利用学(大学) [2] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/12(水) 9:30-12:00	
	2 林業経営	林業経営論	林業経営論、林業経営の歴史と展望 [1] 林業経営論(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/11(水) 9:30-12:00
林業経営論		世界の林業の歴史と進化論 [1] 林業経営論(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/28(水) 9:30-12:00	
3 地域公共政策	地域公共政策論	全体論、森林地帯事業等の考え方(1) 出立 去留 [1] 地域公共政策論(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/21(水) 9:30-12:00	
	地域公共政策論	地域活性化の取り組みなど [1] 地域公共政策論(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/21(水) 9:30-12:00	多目的実習室
	地域公共政策論	森林・林業の歴史と展望 [1] 地域公共政策論(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/12(水) 9:30-12:00	
4 森林管理	森林管理学	森林管理学(森林GIS基本編) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	2,520円	5/20(水) 21:10-22:10 7/8(水) 21:10-22:10 ●研修料 4,500-16,500	専攻1教室
	森林管理学	森林管理学(森林GIS応用編) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	3,040円	11/1(水) 21:10-22:10 2/1(水) 21:10-22:10 ●研修料 4,500-16,500	
	森林管理学	森林管理学(森林GIS実践編) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	4,050円	7/30(水) 21:10-22:10 7/31(木) 9:30-12:00 8/1(木) 9:30-12:00 8/2(金) 9:30-12:00 8/3(土) 9:30-12:00 8/4(日) 9:30-12:00	
	森林管理学	森林管理学(森林GIS実践編) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	4,050円	8/2(金) 9:30-12:00 8/3(土) 9:30-12:00 8/4(日) 9:30-12:00 8/5(月) 9:30-12:00	
	森林管理学	森林管理の最新技術(GIS、リモートセンシング) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/26(水) 9:30-12:00	
森林管理学	森林管理の最新技術(GIS、リモートセンシング) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/26(水) 9:30-12:00	多目的実習室	
森林管理学	森林管理の最新技術(GIS、リモートセンシング) [1] 森林管理学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/26(水) 9:30-12:00	多目的実習室	

区分	科目	内容	定員	受講料	日程・時間	場所
4 建築学	木質構造設計①	全体論、工学的解説 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/16(水) 9:30-12:00 7/17(木) 9:30-12:00	
	木質構造設計②	全体論、工学的解説 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	5/21(水) 9:30-12:00	多目的実習室
	木質構造設計③	全体論、工学的解説 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/16(水) 9:30-12:00 7/17(木) 9:30-12:00	
	木質構造設計④	木質建築史 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	9/12(水) 9:30-12:00 9/13(木) 9:30-12:00	
5 建築学	環境性能設計①	建築・省エネ環境設計 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,560円	11/6(水) 13:00-16:10 11/7(木) 9:30-12:00 11/8(金) 9:30-12:00	多目的実習室
	環境性能設計②	建築・省エネ環境設計 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,040円	12/4(水) 9:30-12:00 12/5(木) 9:30-12:00	
	環境性能設計③	手法と実習① [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,020円	7/8(水) 9:30-12:00 7/9(木) 9:30-12:00	
	環境性能設計④	手法と実習② [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,040円	2/6(水) 9:30-12:00 2/7(木) 9:30-12:00	多目的実習室
6 建築学	環境性能設計⑤	手法と実習③ [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,040円	2/13(水) 9:30-12:00 2/14(木) 9:30-12:00	
	環境性能設計⑥	手法と実習④ [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,040円	2/20(水) 9:30-12:00 2/21(木) 9:30-12:00	
	設計 建築①	様々な木造建築の設計手法 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,040円	1/23(水) 9:30-12:00 1/24(木) 9:30-12:00	多目的実習室
	木質構造設計⑦	構造設計概論 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	7/24(水) 9:30-12:00 7/25(木) 9:30-12:00 7/26(金) 9:30-12:00 7/27(土) 9:30-12:00 7/28(日) 9:30-12:00	棟元
7 建築学	木質構造設計⑧	小規模建築物の構造設計 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,530円	8/1(水) 9:30-12:00 8/2(木) 9:30-12:00	多目的実習室
	木質構造設計⑨	中大規模建築物の構造設計 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	1,040円	12/9(水) 9:30-12:00 12/10(木) 9:30-12:00	
	防火設計	木造の防火設計の考え方・設計手法等 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	2,070円	9/1(水) 9:30-12:00 9/2(木) 9:30-12:00 9/3(金) 9:30-12:00	多目的実習室
8 建築学	木造建築物の設計と施工	木造建築物の設計と施工 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	8/5(水) 9:30-12:00 8/6(木) 9:30-12:00	多目的実習室
	小規模木造の施工	小規模木造の施工、伝統的工法と現代工法 [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	2/20(水) 9:30-12:00 2/21(木) 9:30-12:00	
	中大規模、非住居建築物の施工	中大規模、非住居建築物の施工、集積材、CLT [1] 建築学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	3/5(水) 9:30-12:00 3/6(木) 9:30-12:00	
	木材利用①	木材利用の歴史と木材利用の発展 [1] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	12/13(水) 9:30-12:00	多目的実習室
9 建築学	木材利用②	木材利用の歴史と木材利用の発展 [1] 木材利用学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	1/9(水) 9:30-12:00 1/10(木) 9:30-12:00	
	木材加工①	木材加工の歴史と木材加工の発展 [1] 木材加工学(大学) 木曜 18:00	30名程度	無料	9/19(水) 9:30-12:00 9/20(木) 9:30-12:00	多目的実習室

日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はホームページ等でご確認ください。

実証講座概要

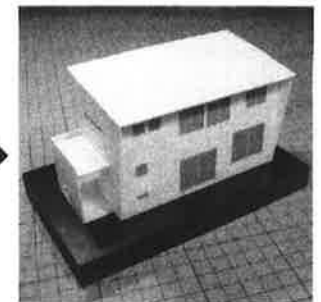
●実証講座名：

女性のためのキャリアアップ講座

- 対象者：多摩地域の女性（男性でも可）
- 目的：「人生100年時代」や「働き方改革」などライフマネジメントが重要な時代となってきた。キャリアアップをするためには1つのスキルより、複数のスキルを持ち、いくつかの業務をこなせる人材となることである。そこで、これからの時代を生きる女性に建設ICT技術（BIM/CAD）の技術を習得してもらい、キャリアアップを図る講座を開設する。
- 講座内容：汎用的なCADソフトの操作方法を習得した後、簡単な模型製作をおこなう。
- 講師：日本工学院八王子専門学校 教員
および日本工学院八王子専門学校 在校生
- スケジュール：講座は10:00～17:00、土曜日の2日間セット
1日目 CAD(VECTORWORKS)の操作方法
2日目 模型製作
- 講座料・教材費：無料（交通費は各自負担）
- 会場：日本工学院八王子専門学校 C&T37 および実習室
- 日程候補：平日で検討（会社員は勤務時間内で研修したい）
- 注意事項：
□昼食代は各自負担とする。



CADソフトによる図面の作成



簡単な模型製作

検討

名称

eラーニング等を活用した「学び直し」実証講座

目的

多摩地域での慢性的な建設産業人材の不足と近い将来必須となる建設ICT技術（BIM/CIM等）に対応できる人材が不足しているという課題を解消するために、建設ICT技術を習得することを目的とする。

対象者・人数

対象者：
職場復帰、キャリアアップを図りたい女性
（男性や学生も受講可能とする）
人数：
20人程度

学ぶこと

女性の職場復帰、社会人のキャリアアップなどを目的とした「学び直し」を、建設ICT技術をPC、スマホ等を活用しながら学習する。

受講後の期待

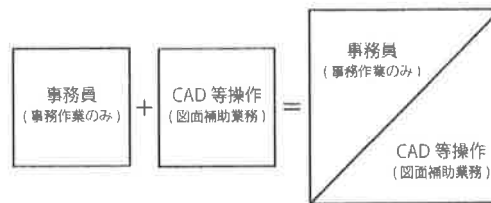
就業中の女性はキャリアアップに繋がることを目指す。マルチタスクがこなせる人材となる。これまで就業していなかった、または出産等で一定の期間就業していなかった女性は、新たに職を探す際に建設産業への就業を視野に入れることを期待する。

委員会での意見

文科省委託事業での第二回委員会で、委員から
・事務員も簡単な図面修正が出来てほしい。
・CAD操作を覚えてもらうようスクールに通う費用を会社が出している。
・CADスキルのある人材がいれば、即採用となる。
などの意見があった。

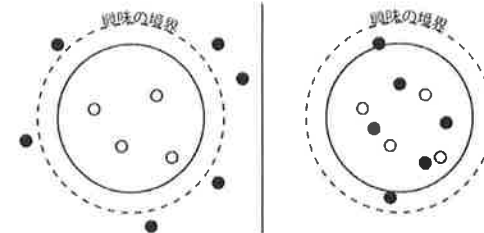
展開

●マルチタスク人材を作り出す



事務作業とCAD操作が可能な人材は人材不足を解消する。

●建設ICTに触れる機会をつくる



通常の業務のみでは触れる機会がない建設ICT(BIM等)に触れることで、積極的に業務への導入が進む。もしくは、導入を検討する中核的な人材となる。

2019年度 文部科学省委託事業 専修学校による地域産業中核的人材養成事業

【案】

HACHIOJI

B uilding | nformation M odeling

Lab

2020.1.○○○

18:00 ▶ 21:00

@八王子市内の施設

建設業と BIM 1 建設 IT ジャーナリスト
とこれから 家入 龍太 (調整中)

木造 BIM による 2 有限会社原忠
新しい工務店のかたち 原口 忠 (調整中)

BIM 導入の事例 3 企業 (調整中)

地域企業交流会 4 懇親会、名刺交換など

主催：本校
お問い合わせ

日本工学院八王子専門学校 文部科学省委託事業 事務局
mail: kobayashita@staff.nec.ac.jp tel: 042-637-3179

主催：専修学校八王子専修学校
日本工学院八王子専門学校

2019 年度 文部科学省委託事業

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産業連携体制構築事業

産学連携イベント

建設系多摩地域企業・BIM 関連企業交流会

<開催の主旨>

生産年齢人口の減少を背景に、企業の人手不足は恒常化しつつあり、

「人材確保」が経営課題のひとつとなっています。

仕事の魅力を発信しながら「地学地就」を推進していくことを目的に、

建設（建築・土木）関連を専攻する学生と、

高い技術力を有する企業が交流するイベントを開催します。

ぜひご参加ください。お待ちしております。

<参加企業（予定）>

- ・ 本学が受託機関として開催した文部科学省委託事業の各委員会等委員の方
- ・ 多摩地域の建設（建築・土木）企業
- ・ BIM 関連企業

など



昨年度の実施風景

<開催概要（案）>

日 時：**2月21日（金）** 10:00～11:30 ※集合 9:30

会 場：日本工学院八王子専門学校 本部棟 1階

対象学生：日本工学院八王子専門学校 テクノロジーカレッジ

建築学科 3年 60名(58) 建築設計科 1年 60名(40)

土木・造園科 1年 20名(16) ※()内は昨年度

ポイント：①2021年3月卒業予定の在校生が参加

②BIMスキルを持った学生、二級建築士合格者も多数参加

③3回(1回25分程度)の企業交流会を通して、多くの学生と交流

申し込み方法：別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたはE-mailにて

申し込みください。

送信先 日本工学院八王子専門学校 文部科学省委託事業 事務局 担当：小林

Fax 042-637-3120 E-mail kobayashit@stf.neec.ac.jp

※ご参加いただく企業様には、本学指定の求人票にご記入いただきます。

申し込み期限：2020年1月17日(金)

<会場のご案内>

日本工学院八王子専門学校

(東京都八王子市片倉町 1404-1)

最寄駅

- ・ JR 中央線「八王子駅」
南口から無料スクールバスで10分
- ・ JR 横浜線「八王子みなみ野駅」
南口から無料スクールバスで5分



「建設系多摩地域企業・BIM 関連企業交流会」

当日のご案内 (案)

- 日程 2020年2月21日(金) 10:00～11:30 (受付開始 9:30 より)
- 会場 日本工学院八王子専門学校 本部棟1階
なお、受付は本部棟1階でございます。

■スケジュール

受付	9:30～9:45
挨拶・概要説明	9:45～9:55
学生入場	9:55～10:00
第1回目	10:00～10:25
第2回目	10:30～11:55
第3回目	11:00～11:30

※交流会は、各回30分ずつ、計3回実施をいたします。

■確認事項

- ①会場 テーブル(1台)、椅子、及び企業名の記載された看板をご用意いたします。なお、会場内の壁面へ企業ポスター等の掲示につきましては、ご遠慮いただいております。
※ご参考：テーブル寸法 約1800×450mm
- ②電気機器のご利用について 電子機器を使用される場合、電源はありませんので、内蔵バッテリーで駆動、又はポータブルバッテリー等をご準備の上、ご対応くださいますようお願いいたします。また、プロジェクトの利用、及び音声出力はご遠慮ください。
- ③学生配布資料について 当日ご持参を頂くか、郵送にてお送りください。
郵送にてお送り頂く場合は、2月19日(火)までに本校着でお願いいたします。

※郵送先 (宛先部署名は必ずご記入ください)
〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
日本工学院八王子専門学校 図書館棟1階 キャリアサポートセンター 担当：小宮
※「建設系多摩地域企業・BIM 関連企業交流会(2/21) 資料」とご記入ください。

④卒業展

2/21(金)～2/23(日)、卒業展が開催されていますので、学生の成果を是非ご覧ください。

■アクセス

- ①スクーラバスをご利用される場合
JR八王子駅南口よりスクーラバス (無料：道路事情によりますが、約10～20分)
JR八王子みなみ野駅西口よりスクーラバス (無料：道路事情によりますが、約5～10分)
- ②お車をご利用される場合
正門警備室にお立ち寄り頂き、駐車場をご確認ください。
警備室へは、「建設系多摩地域企業・BIM 関連企業交流会」で来校の旨、お伝えください。

■お問合せ先

日本工学院八王子専門学校 文部科学省委託事業事務局 小林
Tel：042-637-3179
Email：kobavashit@stf.neec.ac.jp

以上

2019年度 文部科学省委託事業 実証講座
 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
 多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産業連携体制構築事業

産学連携イベント
建設系多摩地域企業・BIM関連企業交流会 (案)

目的：「産学連携体制の構築」の実証として、
 ・多摩地域企業への就職／BIM関連企業への就職／地域企業との地学地就の連携力強化
 を目的とする。

日時：2/21(金) 10：00～11：30 受付9：30～ (予定)

場所：本部棟 1階 (予定)

参加企業：文科省委託事業関連企業およびBIM関連企業

対象学生：建築学科3年、建築設計科1年、土木・造園科2年

■参加企業 (案) 以下の企業から最大16社の参加を見込む。(昨年度10社)

	建設業	所在地	業務内容	昨年度
1	三友建設株式会社・三友 ATN 株式会社	東京都八王子市	総合建設業・BIM	参加
2	田中建設株式会社	東京都八王子市・千代田区	総合建設業	参加
3	黒須建設株式会社	東京都八王子市	総合建設業	参加
4	株式会社エヌエス朝倉組	東京都多摩市	総合建設業	参加
5	株式会社エヌエストラスト	東京都八王子市	不動産業	参加
6	岩浪建設株式会社	東京都青梅市	総合建設業	—
7	株式会社ユーテイル不動産	東京都八王子市	不動産業	—
8	調 整	中		
9	調 整	中		
10	調 整	中		
	BIM 関連企業			
11	ペーパレススタジオジャパン株式会社	東京都港区	BIM コンサル導入支援	参加
12	株式会社日建設計	東京都千代田区	建築設計事務所	参加
13	ヒルカワ金属株式会社	三重県桑名市	建設資材総合商社・BIM 業務	参加
14	エーアソノドエー株式会社	東京都千代田区	ソフトウェアベンダー	参加
15	フリーダムアーキテクツデザイン	東京都中央区	BIM 設計業務	
16	久 慈 設 計	岩手県盛岡市、東京都千代田区	BIM 設計業務	
17	長 谷 工 設 計	東京都港区	BIM 設計業務	
18	BIMアーキテクツ／カミコア	東京都目黒区、八王子市	BIM コンサル・設計業務	
19	株式会社積木製作	東京都墨田区	VR等設計支援業務	

2019年度 文部科学省委託事業 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
 多摩地域における建設産業中核的人材養成のための産学連携体制構築事業

委員会日程

	1回目	2回目	3回目	4回目	報告会
多摩地域建設産業 のための 準人材育成協議会 委員会設立	9月9日(月) 15:00～17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 厚生棟2F スチューデントスクエア	11月5日(火) 15:00～17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟 14階 AI実践センター	12月12日(木) 15:00～17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟 14階 AI実践センター	<予定> 1月30日(木) または 1月31日(金) 15:00～17:00 場所:日本工学院八王子専門学校 片柳研究所棟 14階 AI実践センター	<予定> 2月21日(金) 場所:日本工学院八王子専門学校 卒業展期間中(2/21～23)で開催